※イラストの指文字は相手から見た形です。

手話を覚えてみよう vol.26

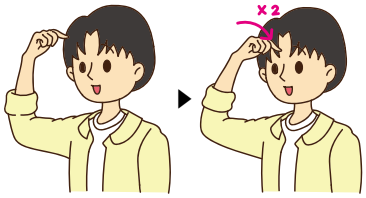
○手話を学ぶ

手話を学ぶことにより、聴覚に障がいのある人と手話でコミュニケーションを取ることができるようになります。最近では、SNSなどでも手話を学ぶことができるようになりましたが、厚生労働省が定めるカリキュラムに基づく講座として「手話奉仕員養成講座」があります。この講座は、基礎的な手話の技能を身に付け、地域のろう者（手話を使う聴覚障がい者）と手話で交流したり、ろう者と周りの人などとのコミュニケーションを支援したりすることを目指すものです。

やってみよう！～身近な言葉の手話～

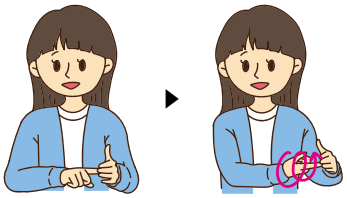
普段使う言葉を手話でやってみましょう　※QRコードを読み込んで、手話の動画を見ることもできます。

教わる・学ぶ



右手人差し指の指先を上から額に向けて2回振る。

努力する



指先を右に向けた左の手のひらに、右手の人差し指の指先をあて、ぐりぐりねじりながら前へ押し出す。

問い合わせ先　福祉支援課障がい福祉担当　☎(584)1111㈹　F(584)1154

自治会通信 vol.23

自治会加入が暮らしの安心につながります

自治会加入申し込みはこちら

白水池地区自治会の取り組みを紹介します。

白水池地区自治会　恵良（えら）　薫（かおる）会長

白水池地区は約620世帯が暮らす、35地区中3番目に小さな自治会です。

戸建て住宅が多く、ため池や大きな公園など豊かな自然に囲まれた閑静な住宅街です。

高齢化に伴い増加している1人暮らしの高齢者の孤立や引きこもりを防ぐため、さまざまな取り組みを行っています。

その1つが独自で取り組んでいる「絆の会」です。ご近所のつながり活動への登録の有無にかかわらず、1人暮らしの高齢者や高齢世帯を対象に、遠くから見守ったり、頻繁に顔を見せたり、それぞれができる範囲で見守りや安否確認を行っています。

また、65歳以上を対象とした「ふれあいサロン」では、介護予防のための講義や体操を行っています。最近は、健康や脳の活性化のための講座が人気です。

その他にもシニアクラブ「池の友」や「るんるんカフェ」では、誰でも気軽に立ち寄り、みんなでお茶や菓子を囲んで和やかに雑談を楽しんでいます。

▲るんるんカフェ

問い合わせ先　地域づくり課協働推進担当　☎(584)1111㈹　F(584)1153